

# 第2次長久手市観光交流基本計画

## 追補版

長久手市

2020(令和2)年3月

## **第2次長久手市観光交流基本計画追補版 目次**

|                       |    |
|-----------------------|----|
| はじめに.....             | 3  |
| 1 基本計画の概要 .....       | 4  |
| 2 観光交流まちづくりの推進        |    |
| (1) 観光交流スタイルの確立 ..... | 5  |
| (2) 魅力が広がる情報発信.....   | 8  |
| 3 推進に向けて              |    |
| (1) 市民の参画と協働.....     | 9  |
| (2) 観光交流協会の取組 .....   | 11 |

## はじめに

本市では、2015(平成27)年3月に観光交流施策の指針となる「第2次長久手市観光交流基本計画」(以下「基本計画」という。)を策定しました。

本基本計画の期間は2024(令和6)年までで、社会情勢などの変化を踏まえ中間等で適宜見直しを行うこととしています。現状では、基本計画を構成する基本方針及び推進方策等の中核部分についてはそのままとし、今回新たな状況の変化により加筆、修正する必要がある部分のみを追補版として策定することとしました。

近年、本市及び本市の観光交流を巡る状況の変化としては、愛知県による「愛・地球博記念公園におけるジブリパーク整備構想」の公表(2018年)や第6次長久手市総合計画の策定(2019年)、市観光交流協会の一般社団法人化(2019年)、市ブランディング事業の取組(2017年～2020年)、リニモテラス公益施設(仮称)の整備(2021年完成予定)などがあげられます。

これらの話題は、いずれも今後の本市観光交流にとって有益なものであり、市及び事業主体となる団体や関係者等が連携し、新たなプロジェクトや事業等に積極的に取り組んでいくことが求められます。これにより、本市のまちづくり及び観光交流施策がますます活発となり、市民の関心度の高まりや本市来訪者・交流人口・関係人口の増加といった効果を上げることを期待します。

なお、本基本計画の全面的な改定は、策定から10年が経過する2024(令和6)年度に実施する予定です。

2020(令和2)年3月

## 1 基本計画の概要

本基本計画では、平成 19(2007)年に策定された第 1 次観光交流基本計画で掲げた基本理念を継承し、合わせて長期的な視野で観光交流によるまちづくりを考えることや、時代の変化に応じて市民の日常生活や活動を地域資源と捉え、これを磨き情報発信するという長久手のオリジナル性を活かした観光交流まちづくりがテーマとして掲げられています。

観光交流によるまちづくりとは、本市全体の魅力を高めることにより市民が郷土に誇りを持ち、来訪者が何度でも訪れたいくなるような活力あるまちを目指すものです。このように、本市においては観光を単に経済的な活動のみではなく、市民同士や市民と来訪者との交流を促進する手段としても捉えています。

そして、市民自らが地域資源を発掘し、磨き上げ「住み心地のいいまち」になるように、また来訪者にとって「居心地がいいまち」になることを目標にしています。

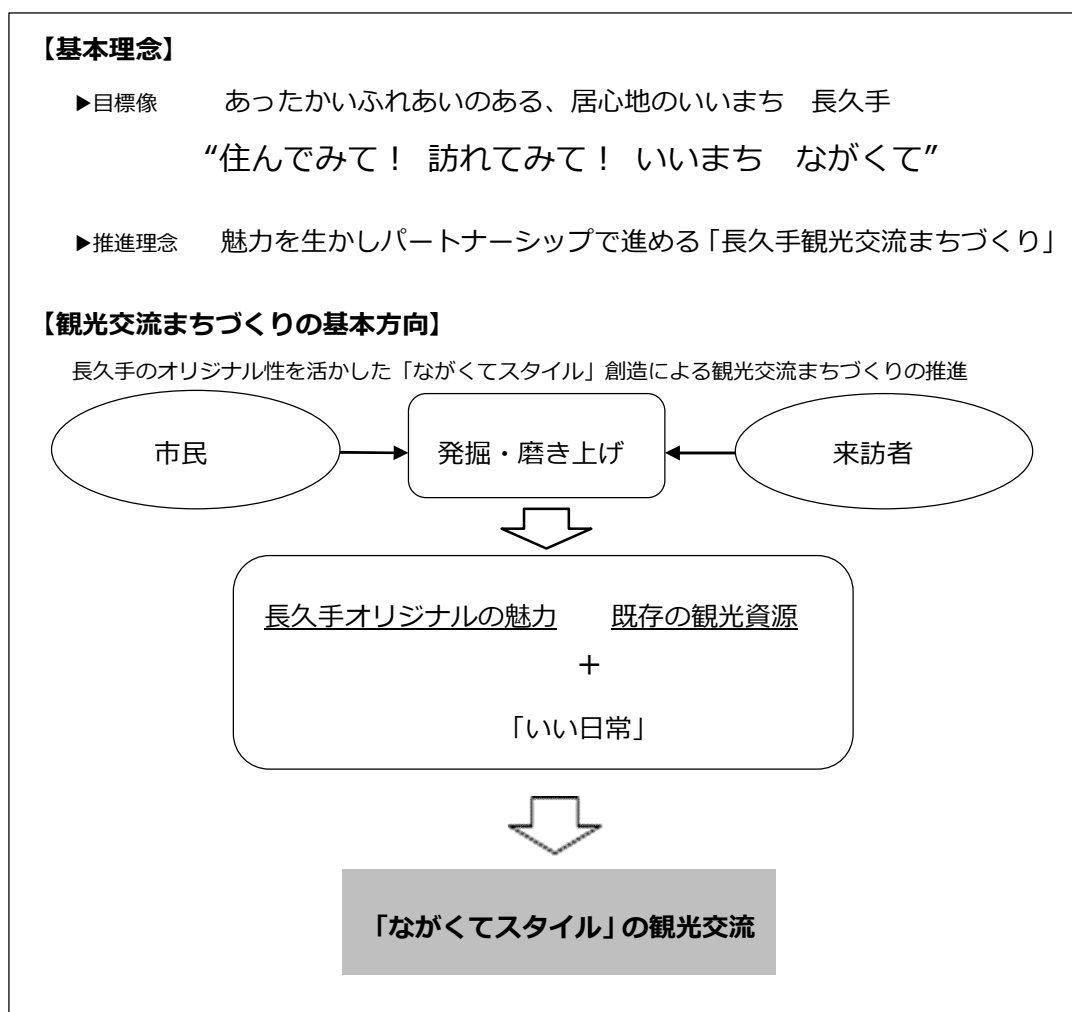


図1 観光交流まちづくりの基本的考え方

## 2 観光交流まちづくりの推進

本市では、2019(平成31年)3月に、新たなまちづくりの指針となる「第6次総合計画」を策定しました。その中では、政策のひとつとして「観光交流まちづくり」をうたい、具体的な施策として「観光交流スタイルの確立」と「魅力が広がる情報発信」を挙げています。

「観光交流スタイル」とは、本市の特性である農や健康・福祉、文化の中にある日常のライフスタイルを長久手オリジナルの「いい日常」と位置づけ、市民や来訪者に「豊かな環境」「おもてなし」「やすらぎ」などを見いだしてもらおうというものです。この考え方に基づき、新たな取組に対応していきます。

### (1) 観光交流スタイルの確立

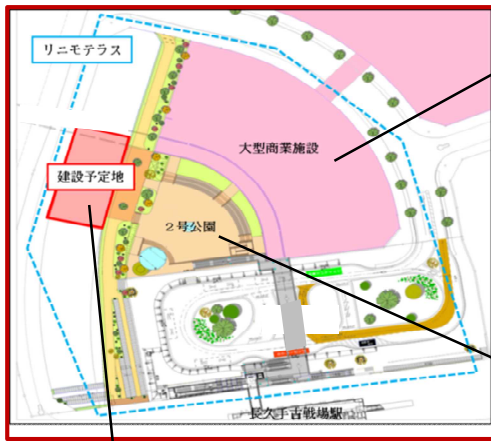
ア 東部丘陵線(リニモ)長久手古戦場駅前にリニモテラス※3が整備され、その交流拠点として「リニモテラス公益施設(仮称)」が2021(令和3)年に開館する予定です。この施設のテーマのひとつに「観光交流」があり、一般社団法人長久手市観光交流協会(以下「市観光交流協会」という。)は、この施設を中心に観光案内や交流イベントなどを展開しようとしています。ここでの取組は、今後の本市の観光交流施策の要となるためその成果が期待されます。

また、この施設では公民連携による管理運営を目指しており、計画段階から市観光交流協会などで組織する「リニモテラス運営協議会」が自ら設計案や管理運営案を検討し市に提案してきました。市としては、この活動を尊重し施設開館後に指定管理者と同協議会の連携による管理運営や事業展開ができるよう支援していきます。

イ 愛知県は、2018(平成30)年に「愛・地球博記念公園内におけるジブリパーク整備構想」を公表し、現在2022(令和4)年の開業に向け準備を進めています。本市は、愛知県やリニモ沿線自治体などで構成される「ジブリパーク構想地域連携協議会」に参加しており、ジブリパークと地域の一体的な発展・活性化を図ろうとしています。観光交流の面では、ジブリパークは「心地よい一息つける」サードプレイスになると思われ、本市は門前町としてその雰囲気パーク外にも広げることを考えていきます。

#### ※3 リニモテラス

リニモ長久手古戦場駅周辺に、まちの新たな顔として整備されたエリア。主に駅前広場や大型商業施設、長久手中央2号公園などで構成される。



### イオンモール長久手

駅前の集客施設として2016年12月にオープン。館内のイオンホールやイオンシネマなどを地域の利用に提供するとともに、長久手中央2号公園で市観光交流協会などと共催イベントを実施している。

- ・敷地 約4.6ha
- 建物 駅前棟 地上2階建て  
本棟 地上4階建て

### 長久手中央2号公園

駅前広場の性格を持つイベント対応型の都市公園。にぎわい空間として、通常は市民等に利用され週末を中心にイオンモール長久手やリリモテラス運営協議会などのイベントが随時実施されている。

- ・面積 約2,000㎡
- 設備 屋根付きステージ、階段兼観覧席  
中央に間欠噴水
- 管理 長久手市(たつせがある課)

### リリモテラス公益施設(仮称)

リリモテラス構想の推進拠点として整備予定。施設コンセプトは「新たなつながりをデザインする場」。本市を特徴づける「大学連携」「観光交流」「多文化共生」「子育て支援」の四つのテーマを軸に事業展開する。

- ・敷地 約870㎡
- 建物 木造・平屋 延床 約400㎡(予定)
- 管理運営 指定管理(予定)

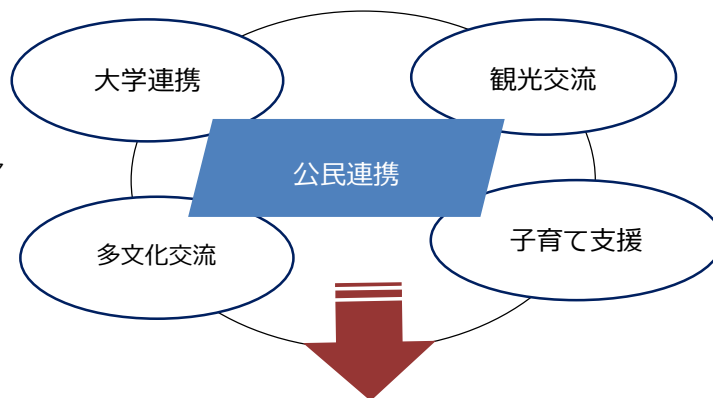
図2 リリモテラスとエリア内の構成施設

#### ▶施設コンセプト

### 新たなつながりをデザインする場

4つのテーマを軸にしながらも、その枠にとらわれず多様なテーマ・分野とのつながりのデザインが可能なプラットフォームとする。

#### ▶4つのテーマ



#### ▶目指す成果

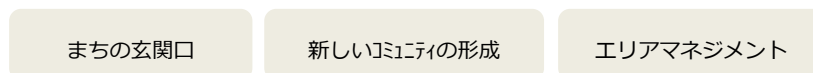


図3 リリモテラス公益施設(仮称)の概念



写真1 リニモテラス運営協議会の活動 左/長久手中央2号公園で開催した夏まつり 右/公益施設建設予定地で行ったミーティング



写真2 ジブリパーク関連の記事を一斉に報じた新聞各紙(2020年2月5日付け朝刊) 上/中日新聞 左下/日本経済新聞 右下/朝日新聞

## (2) 魅力が広がる情報発信

近年、私たちの生活情報の大半は IT やデジタル技術によってもたらされます。特に、インターネットを活用した SNS による情報の受発信は、若い世代を中心に欠くことができない手段になっています。

このため、本市の観光交流に関する情報発信は、従来のアナログ手法(広報紙・情報誌・チラシなど)に加え、デジタル手法(ホームページ・デジタルサイネージ・SNS など)も加えて展開していきます。

また、市と市観光交流協会が連携して、SNS の即時性や双方向などのメリットを生かすため、インフルエンサー※4を発掘するなど活用面での工夫を図っていきます。

### ※4 インフルエンサー

世間に与える影響力が大きい行動を行う人物のこと。  
特にインターネットの発信型メディアにおいて他の利用者に大きなインパクトを与える人。



写真3 市観光交流協会が活用している SNS の画面 左/フェイスブック 右/インスタグラム

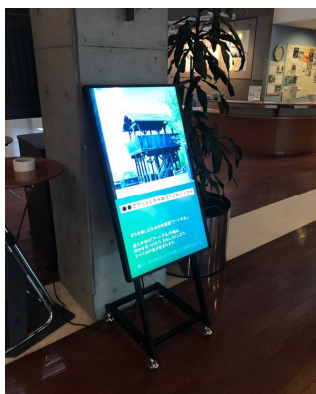


写真4 デジタルサイネージによる地域ブランディング情報の発信(文化の家)



### 3 推進に向けて

#### (1) 市民の参画と協働

ア 大都市近郊の住宅都市として発展してきた本市は、「暮らしやすいまち」のイメージが定着してきており、これからはさらに「楽しいまち」を目指していこうという機運が高まることが期待されます。そのためには、市民や大学、企業、関係団体等のあらゆる分野からのまちづくりへの提案や実践が求められ、それをもとにした体験型の観光交流施策が望まれます。

イ 本市では、2017(平成29)年度から2019(令和元)年度にかけて、愛知県の補助事業として「長久手市地域ブランディング事業」に取り組んできました。この事業の目的は、本市における地域ブランドの確立で、これをきっかけにシビックプライド※1の醸成が図られ、「暮らすまちから 楽しむまち」への転換を目標にしています。

これまで、インターネットを利用したアンケートから本市のブランディングのテーマを“アートする”に設定し、市内で関連のモデル事業(イベント)を実施したり、インターネットやデジタルサイネージ(デジタル技術を活用した情報媒体)などを活用して事業の啓発や情報発信に努めてきました。また、この事業の実施にあたり、行政(市たつせがある課、市文化の家)と市観光交流協会とで「長久手市地域ブランディング連絡会議」を組織し、共同で事業案の検討・実施や効果測定アンケート分析などを行ってきました。

アンケート結果から、日常生活の中で見いだされる“アートする”活動が市民生活を楽しくし、市民の定住指向につながる傾向にあることがわかります。

本事業は、今後市観光交流協会が継承することとなり、主に同協会の活動を通じていっそうの浸透と発展を図っていきます。

#### ※1 シビックプライド

都市に対する市民の誇り。自分自身が関わって地域をよくしていこうとするある種の当事者意識に基づく自負心のこと。

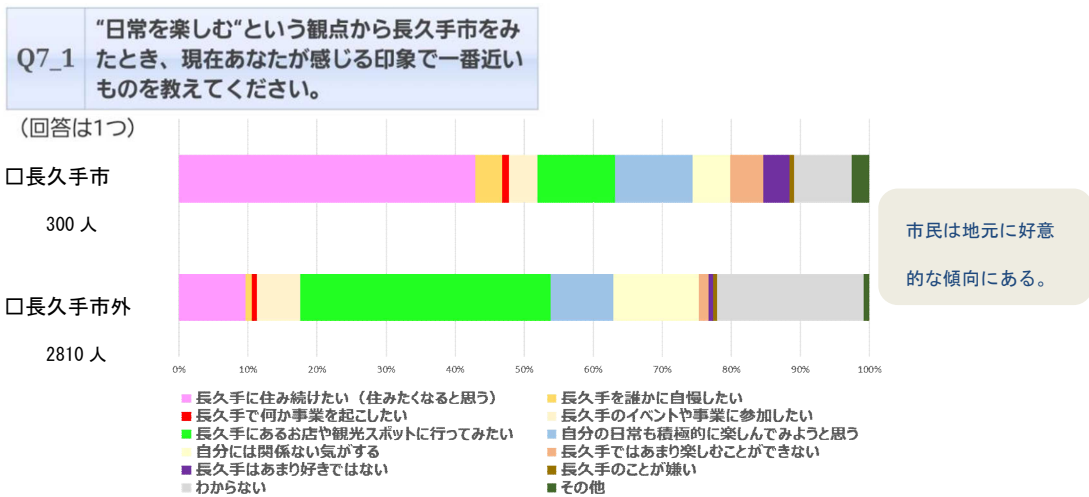
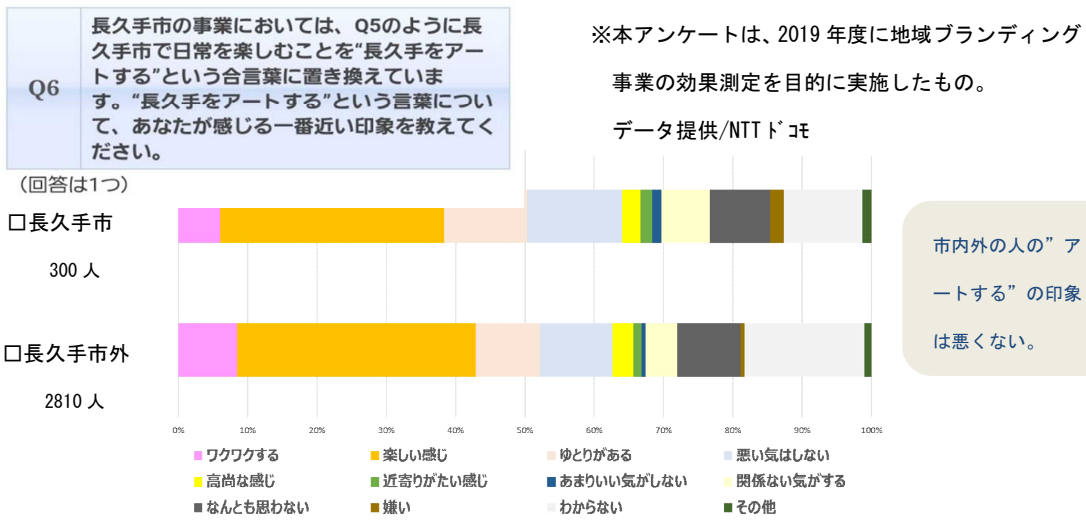


図4 地域ブランディング事業で実施したインターネットアンケートの結果から(一部抜粋)



写真5 地域ブランディングのポスター



写真6 地域ブランディングのモデル事業 上/ベルギーナイト 下/光の切り絵

## (2) 観光交流協会の取組

2019(平成 31)年 4 月に、それまで任意団体であった市観光交流協会(前身は市観光交流推進会議)は一般社団法人に移行しました。これによりかねてからの課題であった民間活力を発揮できる組織の設立は実現しました。

ただし、現時点では資金や運営体制などの面でいくつかの課題があります。まず、同協会の運営や事業のための資金は、市の補助金が大部分を占めており自主財源の獲得が求められます。そのため、市観光交流協会では商品販売などによる収益確保や金融機関からの融資など新たな取組に着手しようとしています。また、現在同協会の理事のうち会長と 1 名の理事は市職員が兼務しており民間による独立した運営体制を模索しています。

一方、同協会の事務局が中心となりオリジナル商品を開発したり、市民や地域の関係者と連携し新たな観光交流イベントを企画・実施するなど民間ならではの迅速で柔軟な活動が見られます。また、市と連携して観光交流に関わるプロジェクトや関連事業に取り組むなど、積極的な姿勢が評価されています。

今後は、一般社団法人としての活動実績を重ね、プロデューサー型をイメージした組織となるよう人材の育成や発掘に心がけるとともに、ほんとうの意味で民間の力を発揮できる組織となるよう企画力や資金力などを兼ね備えた組織となることが期待されます。市としては、やがて市観光交流協会が全国各地ですでに組織されているDMO※2へと移行できるよう、関係団体等へ情報提供するとともに環境整備をするなどして支援していきます。

※2 DMO = Destination Marketing Organization

観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。

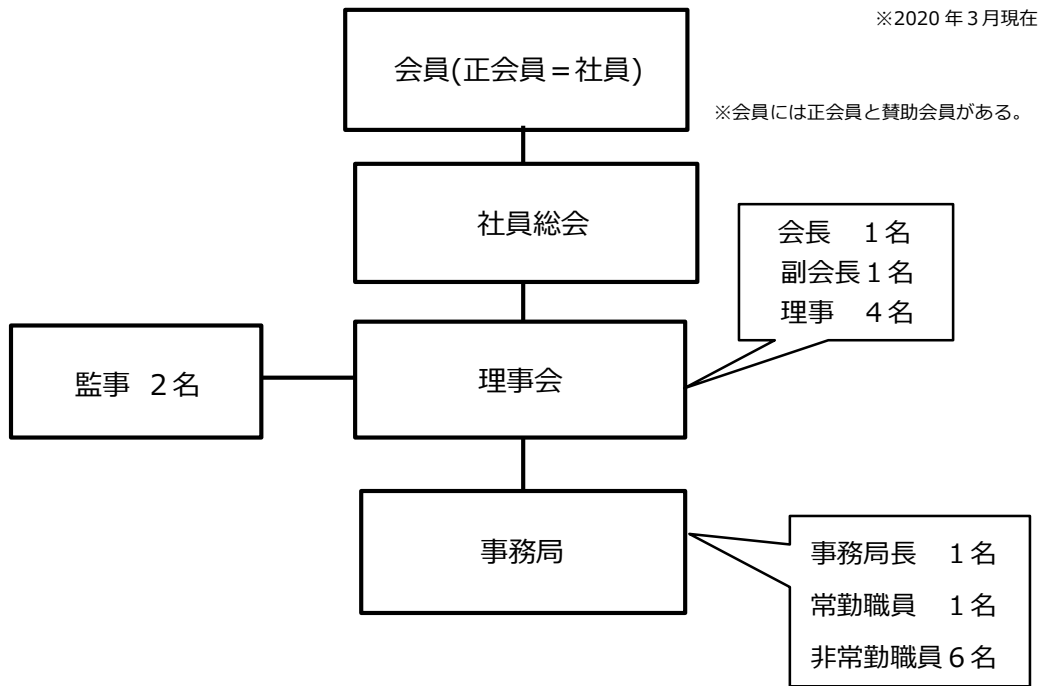


図5 一般社団法人長久手市観光交流協会の組織図

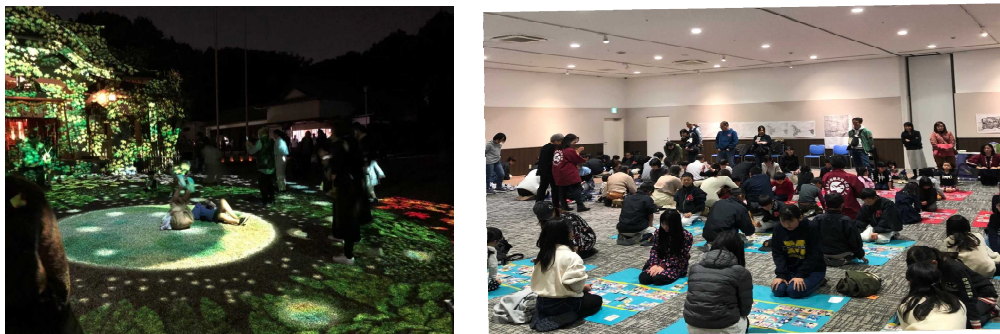


写真7 市観光交流協会が行ったイベント 左/光の切り絵 右/長久手ふるさとかるた大会



写真8 市観光交流協会が発行している情報誌と販売しているオリジナル商品

左/「雑人」 右/「長久手合戦せんべい」と「長久手ふるさとかるた」

<参考資料>

| 取組          | 年 | 2020年 | 2021年                                    | 2022年  | 2023年 | 2024年 |
|-------------|---|-------|--|--|-------|-------|
| リニモテラス事業    |   |       |  | ・リニモテラス公益施設(仮称)がオープン<br>・長久手中央2号公園のグレードアップ完成 |       |       |
| ジブリパーク整備    |   |       |  | ・5エリアのうち3エリアがオープン<br>・全面開業                   |       |       |
| 市観光交流協会事業   |   |       | ・市内周遊ツアーを企画<br>・リニモテラス公益施設(仮称)で観光案内開始    |  |       |       |
| 地域ブランディング事業 |   |       | ・実施主体を市観光交流協会に移行<br>・他分野の団体含む新たな実施組織を設立  |  |       |       |
| 情報発信事業      |   |       | ・リニモテラス公益施設(仮称)で観光情報発信<br>・ジブリパークの関連情報発信 |  |       |       |

※取組内容及びスケジュールは市(たつせがある課)が調整し想定したもの。

表1 市観光交流に関する主な取組とスケジュール(2020年~2024年)

第2次長久手市観光交流基本計画 追補版

発 行 長久手市

企画・編集 長久手市暮らし文化部たつせがある課

住 所 〒480-1196

長久手市岩作城の内 60 番地 1

TEL (0561)63-1111

FAX(0561)63-2100

E-mail tatsuse@nagakute.aichi.jp